



# がっこう 学校だより

がっこう  
3月号



**Challenge  
Dream  
Interaction**

れいわ ねん がつ にち  
令和4年2月28日  
よこはま しりつがみい いだしょうがっこう  
横浜市立上飯田小学校

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamiida/>

## ことば つむ 言葉を紡ぐ

こうちょう よこやまよしあき  
校長 横山美明

がつふつが べきん かいさい どうき はつか へいかいしき むか にほん かくとく  
2月2日から北京で開催されていた冬季オリンピックが20日に閉会式を迎えました。日本の獲得メ  
だる数は18個と過去最高でした。メダル数もさることながら昨年夏に行われた東京オリンピックと  
どうよう わか せんしゆ かつやく めだ わたし かん せんしゆたち ことば せんしゆ  
同様に若い選手の活躍が目立ちました。私を感じたのは、その選手達の言葉でした。どの選手も  
きょうぎご おつ ことば ひと ひと えら ていねい きも かつ  
競技後のインタビューでとても落ち着いて言葉を一つ一つ選びながら丁寧に気持ちを語っていました。  
なか おお まわ ひとたち かんしゃ ことば がめん うつ せんしゆ なか  
中でも多かったのは周りの人達への感謝の言葉でした。テレビの画面に映るのは、選手とチームの仲  
ま かんとく ほか がめん うつ かつ  
間や監督、コーチくらいですが、その他にも画面には映らないけれどこれまでに関わってきたたくさん  
ひとたち かつがた おも せんしゆ ことば かん と かつよつが はじ  
の人達がいます。その方々への想いも選手の言葉から感じ取ることができました。3月4日から始まる  
パラリンピックでもすてきな言葉が聴けるといいと思います。

あた ことば いっぽう どう せんしゆ たい こころな はつげん めだ ひと きず  
そうした温かい言葉の一方で、SNS等での選手に対する心無い発言も目立ちました。人を傷つけ  
たり非難したりする言葉、こうした発言についてのニュースを耳にすると本当に心が痛みました。

ことば つむ ひょうげん せんい よ いと つく ことば かんが  
「言葉を紡ぐ」という表現があります。繊維に撚りをかけて糸を作るように、一つ一つの言葉を考  
えながらつなげて文章を作ることです。今回の選手達の言葉はまさに言葉を紡いで発せられたものだ  
かん たい どう ひと きず はいりよ か ことば ことば つむ じ  
と感じました。それに対してSNS等での人を傷つける配慮に欠ける言葉は、言葉を紡ぐことなく、自  
ぶん ときおも かん はつしん そくじせい  
分がその時思ったことや感じたことをストレートに発信したもののなのでしょう。SNSは即時性があり  
べんり そうしん おまえ いちどよ かえ よ ひと おも  
便利なツールではありますが、送信ボタンを押す前にもう一度読み返して、これを読んだ人がどう思う  
のか、どう感じるのかを考えてから送信するくらいの心の余裕はもってほしいものです。

こんねんど がっきゅう とりくみ かにみ かつち  
今年度のハーモニー&ワールドは学級ごとの取組をご家庭で見えていただくという形となりました  
が、子ども達の想いは伝わりましたでしょうか。教室を回って発表に向けての練習の様子を見てい  
ると、どの子も一生懸命せりふを考え、何度も練習していました。動画に映っているのは短い発  
びょう どうよう どうが うつ ばめん ともたち せんせい かつ  
表かもしれませんが、オリンピックと同様、その動画には映っていない場面でも友達や先生と関わり  
ながら自分達の想いが伝わるように子ども達なりに言葉を紡いでせりふを考え、練習していました。  
せん わだい こさま はなし き  
そういった点についても話題にして、お子様から話を聴いていただくとありがたいです。

こんねんど ほごしゃ みなさま ちいき みなさま こ たち がっこう かつどう ようす ちよくせつみ  
今年度も保護者の皆様をはじめ地域の皆様には、子ども達の学校での活動の様子を直接見ていただ  
くことができませんでしたが、子ども達はしっかりと成長しました。ご理解とご協力いただき本当  
にありがとうございました。いよいよまとめの時期となりますが、次のステージに安心して進めるよう  
とく おも じねんど か しえん きょうりよく ねが  
取り組んでいきたいと思ひます。次年度も変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願ひいたします。